

さいたま市民医療センターにて 食物蛋白誘発胃腸症(FPIES)でご加療中の方へ

当院小児科では原因食物摂取をきっかけとし、繰り返す嘔吐症状を特徴とする食物蛋白誘発胃腸症 (Food Protein-Induced Enterocolitis Syndrome : 以下 FPIES) と呼ばれる疾患に関しての臨床研究を行っております。

【研究課題】

当院における Food Protein-Induced Enterocolitis Syndrome (FPIES) に関する後方視的検討

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 さいたま市民医療センター 小児科

研究責任者 小児科医師 三山 智史

担当業務 データ収集およびデータの解析

【研究期間】

調査期間(2009年3月1日から2022年3月31日まで)

データ収集・解析期間(2022年8月1日から2022年12月31日まで)

【対象となる方】

2009年3月1日から2022年3月31日の間に、FPIESで当科に入院もしくは外来受診した小児(0-15歳)の患者さんです。

【研究の目的】

FPIESの症状・原因食物・検査値・寛解時期(原因食物を摂取できるようになる時期)について評価を行い、FPIESの診断および診療の向上を目的としています。

【研究の方法】

この研究は、さいたま市民医療センター倫理委員会の承認を受け実施するものです。対象となる患者さんのこれまでの診療でカルテに記録されている誘発症状(嘔吐、下痢など)や血液検査データ、寛解時期を評価し、解析を行います。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

【個人情報の保護】

患者さんの情報は、解析する前に氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、本研究に使用させていただきます。また、情報に関してはパスワードロックをかけたパソコンや鍵のかかるロッカー等で厳重に保管します。ただし、必要な場合には、当研究室においてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行い、結果をあなたにお知らせすることもできます。

学会発表や論文発表に際しても患者さんの個人情報は保護されます。

ご自身の情報が本研究に使用されることに同意をされない場合には、下記へお申し出ください。

研究に不参加であっても、患者さんに不利益が被ることは一切ございませんのでご安心ください。
ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

2023年3月

【問い合わせ先】

さいたま市民医療センター 小児科

住所：埼玉県さいたま市西区島根299-1

電話：048-626-0011